

森

の通信

宮崎県総合博物館
発行日/平成12年7月1日発行/宮崎県総合博物館 〒880-0053 宮崎市神宮2丁目4番4号TEL (0985)24-2071
<http://www.pref.miyazaki.jp/museum/>開館50周年記念
特別企画展

水辺の花と生きものたち

日本には湖沼やため池、河川や水路、水田、湿原や干潟などさまざまな水辺（ウェットランド）が各地に見られます。また、このウェットランドは多くの生命を育む「生命のゆりかご」で、人々に豊かな恵みをもたらす存在でもあります。この展覧会では、水辺（ウェットランド）の恩恵と人との関わり、そこに生育する花と生きものの多様性にふれ、そこがかけがえのない自然であることを紹介し、さらにその保全の在り方を探ります。また、北海道のサロベツ原野から沖縄県西表島のマングローブまでの日本の代表的ウェットランドの現状や生きた水辺の動植物も展示紹介します。

日本の水辺の花と生きもの大集合！

消えゆく水辺の植物



アサザ



オニバス

日本のウェットランドの生きもの



生きたカブトガニもやってきます



北海道のサロベツ原野



沖縄県西表島のマングローブ

記念講演会

日時：7月30日（日）
13：30～15：00『日本の消えゆく水草
～人と自然の共生を考える～』講師：神戸大学教授
角野康郎氏

シンポジウム

テーマ：生き生き田んぼ!!
日時：8月20日（日）

博物館利用者の声

博物館友の会の家族会員に入会しています。

子どもが、自然史コーナーの森のシアターが大好きで、月に2回は博物館を利用しています。

照葉樹林の一日がリアルに再現しており、特に、^{くも}蜘蛛が巣を作るシーンが、とても気に入っています。

子どもが、「ババ 蜘蛛が巣を作るっちゃんが、知っちゃった？」と教えてくれます。「初めて見るっちゃんが、へー」と言う感じです。

それともう一つ子どものお気に入りがあります。歴史民俗のコーナーのカシゴンニャクを作るビデオで、作る過程を見ているだけで食べたくなるそうです。

宮崎県のすばらしさを違った角度から見るできるので、これからも利用していきます。 (竹ノ内 康)



博物館講座紹介

「プロ写真家による植物写真講座」～もっと上手な撮影を～

プロの植物写真家から植物写真の撮影方法を直接指導していただく講座が5月14日(日)に行われました。講師には植物図鑑の写真を多数手がけておられる永田芳男さんをお招きしました。午前は写真撮影をするための基本的な内容の解説をスライド映写で説明していただき、午後は、春の野草を参加者全員で撮影する実習を行いました。参加された30名一人一人に丁寧^{ていねい}に指導していただき、たくさんの質問も飛び出しました。この講座を機会に素晴らしい写真が撮れるようになるといいですね。



7月以降の博物館講座案内

実施月日(曜日)	講 座 名	対 象	場 所
7月 8日(土)	ドキ! ドキ! 考古拓本教室	小学生以上	館内
9日(日)	先生のための歴史講座「宮崎県ができるまで」	小中高教師	館内
20日(木)	植物の標本を作ろう	小中学生	館内
22日(土)	岩石・化石の標本を作ろう	小中学生	館内
23日(日)	昆虫の標本を作ろう	小中学生	館内
29日(土)	水辺の自然(川南、高鍋湿原の花たち)	中学生以上	野外
8月 5日(土)	先生のための科学実習講座	小中高教師	館内
6日(日)	〃	〃	〃
20日(日)	先生のための歴史講座「本物に触れてみよう! 考古学基礎講座」	小中高教師	館内
25日(金)	小中学校の授業に役立つ「地質教室」	小中教師	館内
27日(日)	採集作品の名前を調べる会	小学生以上	館内
9月15日(金)	キノコ自然観察会①	一般	野外
17日(日)	野外調査会(鎮守(ちんじゅ)の森3)	一般	野外
10月 7日(土)	死者たちの道のりと形	大学生・一般	館内
22日(日)	野外調査会(鎮守の森4)	一般	野外
28日(土)	古代生物教室	小中学生	館内
11月11日(土)	野外調査会(鎮守の森5)	一般	野外
12日(日)	化石調査隊、出発	一般	野外
19日(日)	キノコ自然観察会②	一般	野外
12月 9日(土)	小さな化石を探そう	小学生以上	館内
1月14日(日)	先生のためのちょっとむかしの暮らし講座	小中高教師	館内



展示解説員の声



トンネルのような^{しょうようじゅ}照葉樹の森とかわいい動物たちが出迎えてくれる自然史展示室は、いつもにぎやかな声が響いています。自然・歴史民俗の展示室には、興味深い資料や体験コーナーが多く、郷土宮崎の豊かさを感じて頂くことができます。昭和30年代住居や定期的に行っている紙しばいも大好評です。展示解説の仕事は毎日が勉強です。来られた方々に色々と教えて頂くことも多く、刺激を受けます。この宮崎の素晴らしい自然や歴史をずっと大切に残していきたいと思います。まだ知らない宮崎を発見しに博物館へぜひ遊びに来て下さい。

(展示解説員：那賀理子)

西都原資料館より

「時のものさし～須恵器展」
(7/4(火)～8/27(日))

古墳はいつ頃造られたのか。その謎を解く鍵の一つに、古墳に^{うづり}副葬された土器(須恵器)を調べる方法があります。須恵器には流行があり、その形から年代が分かるのです。「時のものさし」の役割を持つ須恵器を展示・紹介し、古墳時代に迫ります。

【受講生募集】

平成12年7月29日(土)10:00～12:00

「夏休み古墳探検!!」を小中学生を対象に行います。夏休みの課題研究としても扱える内容です。

【問い合わせ先】

西都原資料館 0983-43-1354



〈西都原古墳群出土の須恵器(一部)〉



〈復元の流む西都原171号墳〉

西都原古代生活体験館より

「古代体験少年団」発足

平成12年度の少年団が20名でスタートしました。今年のテーマは「古代人の工夫に学ぶ」です。5月は、自分の箸作りと仲間づくりゲームをしました。6月は、古代米の田植えをしました。古代人の工夫を発見するのが楽しみ!

普及講座「本格的縄文土器作り」

12人の大人が高さ40cmの大型土器作りに挑戦中です。7月の第2週目には作品展示の予定です。

夏休み半日講座

7月26日～8月31日の水・木・金曜日の午前中に「土器のひみつ」「子ども科学者」の2つのコースを実施します。

【問い合わせ先：体験館】
0983-43-5002



常設展示室探検!!～歴史展示室の人気スポット～

「復元住宅／昭和30年代」

歴史展示室で、人気を集めているのが、昭和30年代の復元住宅です。入り口から井戸やかまど・五右衛門風呂、茶の間には卓袱台、縁側には机と足踏み式ミシン、廊下を歩くとくみ取り式トイレや寝室があります。当時使われていた牛乳のフタをあける道具やデパートの包装紙などもあり、見るたびに新しい発見があります。家の中にあがることができますので、しばしの間昭和30年代にタイムスリップしてみるのはいかがでしょうか。



平成12年度特別展

「発掘された日本列島2000 —新発見考古速報展—」

2000.11.11～12.6

全国から最新の発掘成果が勢揃いします。旧石器・縄文土器・弥生土器・木器・埴輪・陶磁器・仏具・ガラス製品などなど。将来、この中から国宝や重要文化財に指定される可能性のある重要遺物ばかりです。県内出土の注目資料も同時に展示します。ご期待下さい。



博物館からのお知らせ

燻蒸のための臨時休館のお知らせ

博物館の大切な資料を害虫やカビの害から守るため、例年燻蒸作業を行っています。今年も、下記の期間休館とし、燻蒸作業を行う予定です。

臨時休館日：平成12年9月4日(月)～9月15日(金)

夏休み中の開館時間について

7/19～8/31日は9時から18時まで開館します。

友の会のご案内

年会費は

小中学生：1,000円 高校生以上：2,000円

家族会員：2,500円（何名でも結構です）

賛助会員(企業・団体等)：10,000円

盛りだくさんの特典があるよ！

※詳しくは博物館までお電話ください。

